

小学生の「朝の居場所づくり」モデル事業を川崎区・多摩区でも開始します

～子どもたちが気持ちよく 1 日のスタートを迎えられる「朝の居場所づくり」モデル事業を全 7 区で展開～

川崎市では、令和 8 年 7 月 6 日(月)以降、これまでに「朝の居場所づくり」モデル事業を開始した 5 区に続き、**10 月 28 日(水)に多摩区（市立登戸小学校）で、11 月 16 日(月)に川崎区（市立川崎小学校）でモデル事業を開始します。**

「朝の居場所づくり」は、朝の時間に子どもだけで過ごすことに不安を感じている家庭のニーズ等に対応し、保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる事業で、このたびの川崎区・多摩区でのモデル実施をもって、全 7 区でのモデル実施がスタートすることになります。

川崎市の「朝の居場所」では、地域の力で子どもたちの成長を支えていけるよう、地域に根差した団体が、活動場所の環境を整え、児童が落ち着いて過ごせるように見守り、1 時間目の授業へのスムーズな接続を図るなどの教育的な付加価値の創出を目指して取組を進めており、引き続き、モデル実施校の取組状況を検証しながら、市内全 115 校の市立小学校での設置に向けて、体制の整った学校から順次、設置校を拡大してまいります。

「朝の居場所」の御取材を希望される場合には、希望日の 2 日前（土曜・日曜・祝日を含まない）までに地域教育推進室までお問合せください。

1 川崎区・多摩区におけるモデル事業の概要

(1) モデル事業実施校

◆川崎区のモデル校

市立川崎小学校(川崎区日進町 20-1) 1 階図書室【開設日：令和 8 年 11 月 16 日(月)】

運営：川崎小学校「朝の居場所づくり」実行委員会 委員長 いいじま もとかず 飯島 元和

学校を核とした地域づくりや地域ネットワークの活性化を図る取組を進める「川崎中学校区地域教育会議」のコーディネーターと町内会をはじめとする地域の方々が連携し、「朝の居場所」を運営する実行委員会を組織しました。中学校区内の他の小学校での「朝の居場所」開設も見据え、モデル事業を展開します。

◆多摩区のモデル校

市立登戸小学校(多摩区登戸 1329) 1 階図書室【開設日：令和 8 年 10 月 28 日(水)】

運営：登戸小学校「朝の居場所づくり」実行委員会 委員長 きざわ しずお 木澤 静雄

登戸小学校登校時の見守り活動や、こども食堂を開催するなど豊かな地域を未来につなぐ活動に尽力する「登戸台和町会」、長年にわたり、地域で子育て支援活動を展開する「NPO 法人ままとんきっず」、「図書ボランティア」など、多様な主体が関わり合いながら登戸小の「朝の居場所」を運営します。

(2) 開設日・開設時間

学校課業日(平日)の午前 7 時 30 分から 8 時 10 分頃まで

(土曜・日曜・祝日及び夏季休業などの長期休業期間等は開設しません)

(3) 利用対象

実施校に在籍する全児童

(4) 利用方法等

利用を希望する児童は、「利用カード」を持参して、小学校ごとに設定された図書室などの居場所で読書、勉強、朝の居場所スタッフとの会話などをして過ごします（登録不要・利用無料）。

2 既にモデル事業を開始している5区のモデル校

区名	実施校	実施場所	開設日	運営団体
幸区	新小倉小学校	メディアセンター	7月6日(月)	NPO法人はたらくらす
中原区	下小田中小学校	特別活動室	9月14日(月)	下小田中小学校「朝の居場所づくり」実行委員会
高津区	久本小学校	図書室	7月6日(月)	NPO法人高津区総合型スポーツクラブSELF
宮前区	犬蔵小学校	図書室	7月6日(月)	いぬくら子ども文庫
麻生区	百合丘小学校	図書室	9月14日(月)	NPO法人麻生区ソーシャルデザインセンター

問合せ先

川崎市教育委員会事務局地域教育推進室 金井

電話 044-200-0444 内線 51803